

発行 長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会【事務局】〒380-8546 長野市南寧町657 信濃毎日新聞読者センター内
電話(026)236-3480 フax(026)236-3193 Eメール nie@shinanoji.net



講演する信大の小山茂臺教授

県新聞活用教育（NIE）推進協議会県NIEセミナーを長野市の信濃毎日新聞に長年取り組んでいる信濃日報の小山茂喜教授が「NIEで実社会を一教育における生成AIとのつきあい」を講演し、教員ら20人が聴きました。

信大・小山茂喜教授が講演

長野で第17回県NIEセミナー

2007年に信州大
学に赴任されまし

県新聞活用教育（NIE）推進協議会は11月18日、第17回県NIEセミナーを長野市の信濃毎日新聞社で開きました。NIEに長年取り組んでいる信州大学教職支援センターの小山茂喜教授が「NIEで実社会との接点を探る学びを—教育における生成AIとのつきあい方」をテーマに講演し、教員ら20人が聴きました。

た。学内での講義や各地での講演を通して、新聞を学習に活用する手法や利点を広めています。

あるが、それ（導かれた情報）が正しいかどうか判断するのが教員の役目」と指摘しました。

小山教授は「新聞社は社会の課題意識を提供している。見出しを全て見て、社会の在り方に気付く、何が何でもいい

たちには社会や生活での課題を俯瞰（ふかん）して捉える力が必要と強調しました。その手段として「新聞の活用が有効」とし、生成AI（人工知能）については「使える部分は

をテーマに、ワークショップも実施しました。参加者は3グループに分かれて、複数の新聞紙面の見出しを見比べたり、違いや感じたことを話し合つたりしました。

24
25年度指定校を募集
21日まで 小中高計6校

長野県新聞活用教育（NIE）推進協議会（会長＝松本康・信州大教育学部教授）は12月21日まで、県内の小学校・高校を対象に2024年度から2年間のNIE研究指定校を募集しています。

す。指定校には同協議会加盟の新聞社8社の新聞を一定期間無料で提供。新聞の活用で、教室での学びを実社会と結びつけたり、学習指導要領が求める「思考力、判断力、表現力」の育成に役立て

たりすることができます。
今回募集するのは
小学校2校と中学校
3校、東北信の高校
1校の計6校です。
NIEを研究する教
員が2人以下の学校
には、同協議会加盟
社の新聞各1部を各

年度に2ヶ月分ずつ提供。3人以上の場合は同4ヶ月分ずつとなります。指定校は各年度1回の公開授業を開くほか、実践報告をしていただいています。23年度の指定校は全国で50校余。申し込み、問い合わせは平日に同協議会事務局（電話026・236・3480）へ。

2007年に信州大
学に赴任されまし

が導入され政治参加が早まる中、子ども

ら見つけ出して、学習展開を考えよう」

び掛けました。

会は11月18日、第17回新聞社で開きまして、大学教職支援センターとの接点を探る学園の方」をテーマに各地での講演を通して、新聞を学習に活用する手法や利点を広めています。この日の講演で小山教授は18歳選挙権

あるが、それ（導かれた情報）が正しいかどうか判断するのが教員の役目」と指摘しました。

小山教授は「新聞
社は社会の課題意識
を提供している。見
出しを全て見て、社
会の在り方に気付
き、何ができるのか
考えてほしハービー